



2021年4月14日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド  
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実  
(コード番号 9878 東証第二部)  
問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭  
(TEL. 03-6300-6335)

## 2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月30日に公表した2021年3月期の業績予想値を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

### 通期業績予想の修正について

2021年3月期通期業績予想数値の修正（2020年3月21日～2021年3月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,740	57	20	8	4.66
今回修正予想(B)	6,770	170	120	106	52.72
増減額(B-A)	30	113	100	98	
増減率(%)	0.4	198.2	500.0	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	6,620	△379	△410	△578	△338.70

### 修正の理由

売上高は、新型コロナウイルスによる数次の「緊急事態宣言」の影響により、客数の減少を余儀なくされ、第2四半期累計期間で105百万円の未達となりました。これを取り戻すべく、店舗では、顧客管理システムとアプリ会員データベースをフル稼働させ、固定客への高単価商品の販売を集中的に行いました。美容部門では、11月から韓国コスメの人気ブランド『MEDIHEAL』の日本総代理店となったことに加え、新商品の投入で売上高が急増いたしました。また、外商部門での、新型コロナ関連の特需などもあり、売上高は予想を上回る見込みとなりました。

一方、利益面では、新聞折込チラシやDMなど、これまで主力であった紙媒体による販促を極限まで削減いたしました。また、人員体制でも「緊急事態宣言」時のシフトを解除後もそのままスライドさせ、人件費の合理化を推進いたしました。

これらの結果、経常利益が500%増で120百万円と予想を大きく上回る見込みとなりました。

以 上

※本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。